

平成30年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果

大 学 名	琉球大学	タイプ	A
事 業 名	COIL 型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成		
海 外 の 相 手 校	ハワイ大学マノア校、ハワイ大学ヒロ校、ハワイ大学マウイカレッジ、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ、ハワイ大学ハワイコミュニティカレッジ、ハワイ大学ホノルルコミュニティカレッジ、ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ、ハワイ大学リーワードコミュニティカレッジ、ハワイ大学ウィンドワードコミュニティカレッジ、グアム大学、パラオ地域短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学		

〔評価コメント〕

本事業計画の「島嶼地域」という地理的特異性を活かしたコンセプトはユニークであり、琉球大学及び相手大学の特性や独自の視点、社会的要請を反映した事業運営と人材育成が期待できるとともに、島嶼地域の課題に関する学術連携の推進を目的とする欧州や大西洋等島嶼地域の大学が加盟する島嶼大学間ネットワークに加入するなど、太平洋島嶼課題の解決に意欲的な内容であると言える。また、グローバル・モジュールの開発により、身に付けるべきスキルの可視化や成績評価の一貫性を図る仕組みが確立されているほか、今後運用を開始するコンピテンシー・センターを通じた教学上の支援も設計されていることは高く評価できる。

英語教育に関しては、CEFRの基準を採用しCLAの活用を見込むなど、履修する授業の階層性や成績評価に関わる質保証についても意識されており、参加大学が多い中で、質の担保を目指していることが見受けられる。事業実施のためのシステムについては相当程度の準備が成され、一部実施もされている。今後、事業を遂行するにあたっては、「島嶼」に特に求められるグローバルリーダーとはどのようなものか、具体化していくことを期待したい。

一方で、「島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成」というコンセプトが明快であるのに比して、具体的にどのような能力を有する人材をリーダーとして育成しようとしているのかが明確ではない。本事業によって育成される人材の特性とそのために必要なカリキュラムについて早期に整理していくことが望まれる。また、英語以外のカリキュラムにおいて、COIL型授業の特性を活かした授業コンテンツの早急な開発に加え、COIL型授業の得失を踏まえた授業実践や成績評価あるいは単位認定の方法を確立し、参加大学間で共有することが望まれる。

最後に、今回本事業に選定されたことを受け、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。